

取扱説明書

Instruction Manual

カウンティングスケール

- 2-9530-01 CPB6K0.1N
- 2-9530-02 CPB15K0.2N
- 2-9530-03 CPB30K0.5N

この度は本製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
また、お読み頂きました後も大切に保管してください。

外観図



目 次

安全にご使用いただくために	2	開梱・設置方法	8
製品概要	3	感度調整	10
梱包内容	3	感度校正	12
仕様	4	操作方法	15
各部の名称	5	個数測定	19
ディスプレイの概要	6	メニュー	27
キースイッチの概要	7	メンテナンスと清掃	30
		困ったときは	31

安全にご使用いただくために

この取扱説明書では製品を安全に、正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐため、安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますので、これらの指示に従って、安全にご使用いただくようお願い申し上げます。

警告レベルを表すシンボルマーク

 危険	取扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。
 警告	取扱いを誤ると、重度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
 注意	取扱いを誤ると、軽度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
 お願い	安全を確保するために注意が必要な事項。

いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

安全確保の図記号

	特定しない、一般的な注意、警告、禁止事項		分解及び改造により感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止
	機器の特定の場所に触れると傷害が起こる可能性がある場合の禁止		感電の危険性の注意
	高温による傷害が起こる可能性がある場合の注意		破裂、爆発の危険性の注意
	特定しない一般的な使用者の行為		アース線の接続の指示

<製品設置時の注意事項>

製品の設置にあたっては、安全な使用と製品の機能を十分に発揮させるため、次の項目をよくお読みの上、適切な場所をお選びください。

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 箱を開ける際に、本体、部品を落下させ損傷しないよう注意してください。安全のため● め、電池の交換前に電源がオフになっていることをご確認ください。

⚠ 注意



下記の条件を満たすところで保管して下さい。製品の劣化、故障の原因になります。

- 結露しないところ。
- 水平で安定したところ。
- 湿気の少ないところ及び水滴のかからないところ。振動のないところ。
- 直射日光のあたらないところ。
- 紫外線光源のないところ。

<操作運転時の注意事項>

⚠ 警告



分解禁止

- 改造及び分解はしないでください。改造及び分解したものを使用して事故がおきた場合、当方は一切の責任を負いかねます。



禁止

- 爆発性ガスや可燃性ガス、引火性ガス、引火性液体、粉塵のある環境下では使用しないでください。
- 屋内にてご使用ください。
- 本器は、防水構造ではありません。屋外での測定時の雨、雲などの天候のとき、あるいはプールや厨房など水がかかりやすい場所で使用しないでください。

製品概要

本器はバックライト付カウンティングスケールです。風袋引き機能や数量目標・個数目標アラームを持っております。

梱包内容

購入時には、以下の品目が梱包されています。

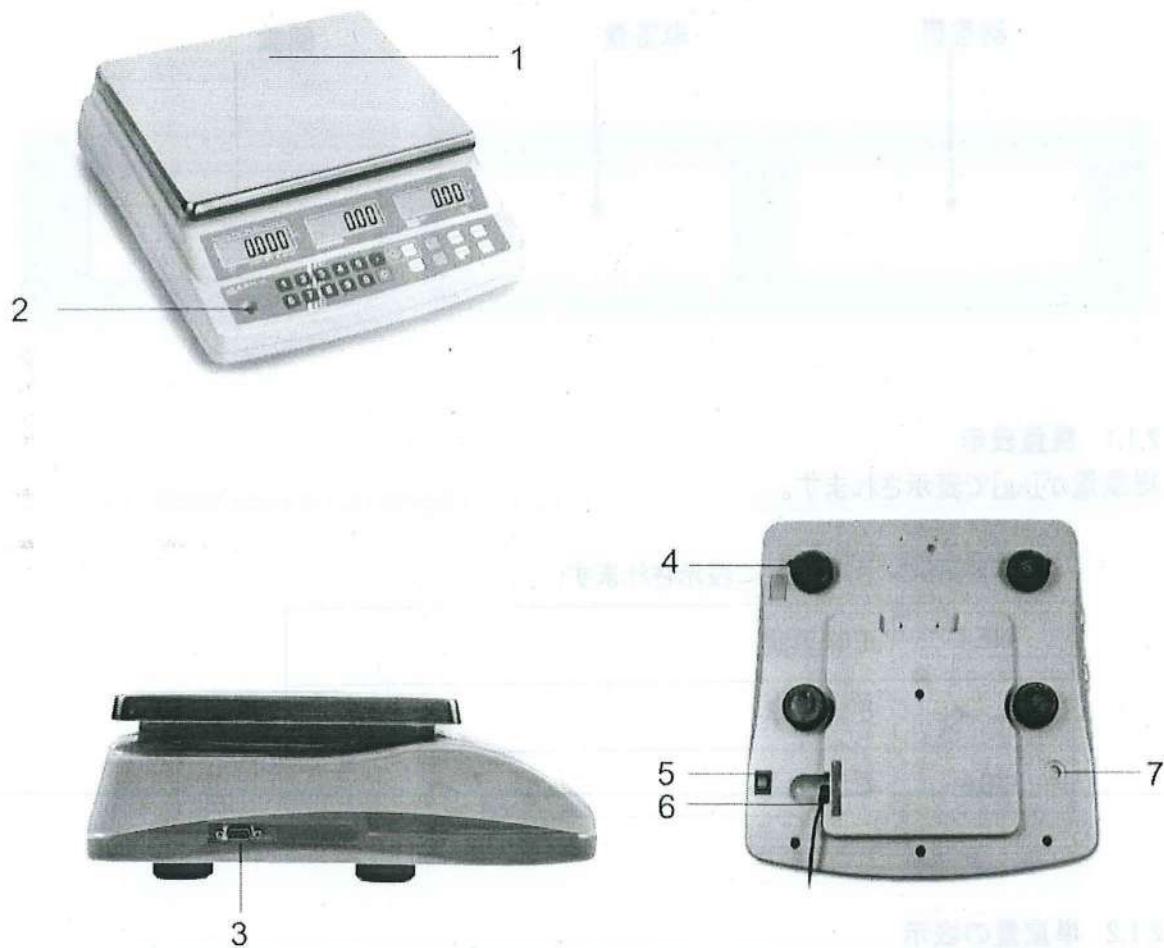
内容	個数
カウンティングスケール本体、計量皿、ACアダプター、保護カバー	各1

開梱の際はお取り扱いにご注意ください。また、発送による損傷がないかお確かめください。何らかの損傷がみられた場合は、電源をいれずに、ただちにお買い上げの販売店までご連絡ください。

1 仕様

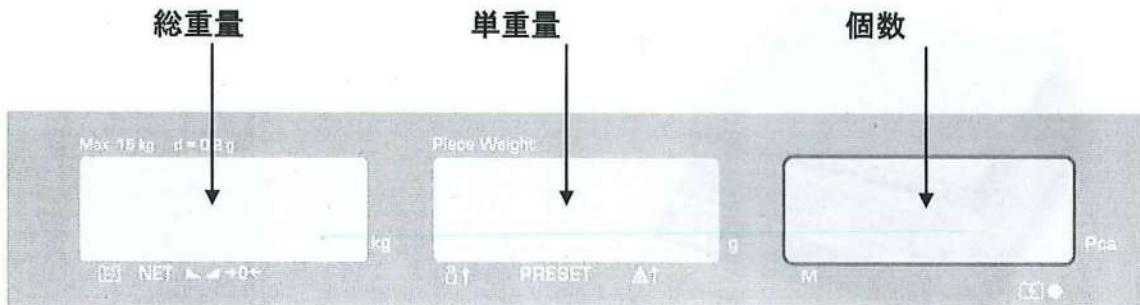
KERN	CPB 6K0.1N	CPB 15K0.2N	CPB 30K0.5N
分解能 (d)	0.0001 kg	0.0002 kg	0.0005 kg
重量測定範囲 (最大)	6 kg	15 kg	30 kg
再現性	0.0001 kg	0.0002 kg	0.0005 kg
直線性	± 0.0002 kg	± 0.0004 kg	± 0.002 kg
推奨校正重量	5 kg (F2) + 1 kg (F2)	10 kg (F2) + 5 kg (F2)	20 kg (F2) + 10 kg (F2)
重量単位	kg(総重量)、g(単重量)		
安定時間	2秒		
ウォームアップ時間	120分		
最小単重量	100 mg	250 mg	500 mg
ACアダプタ入力	100 V AC 50/60 Hz		
ACアダプタ出力	12 V, 500 mA		
外形寸法 (W x D x H)	320 x 350 x 125 mm		
計量皿サイズ	294 x 225 mm		
使用環境温度	0~40° C		
使用環境湿度	相対湿度:最大80 %(結露不可)		
重量(kg)	3.8 kg		

2 各部の名称



1. 計量皿
2. 水平器
3. 本器は使用しません
4. 水平調整軸
5. 電源スイッチ
6. ACアダプター接続口
7. 本器は使用しません

2.1 ディスプレイの概要



2.1.1 重量表示

総重量が[kg]で表示されます。

▼が下記シンボルの上に表示されます:

NET	正味重量
◀▶	安定表示
→0←	ゼロ表示

2.1.2 単重量の表示

試料の単重量が[g]で表示されます。この値は本器による計算および数字キーによる入力があります。

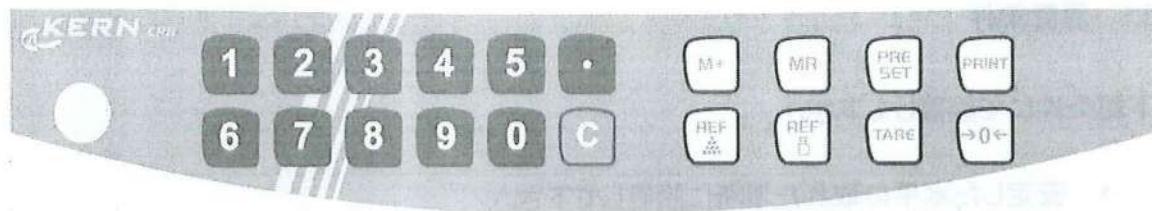
▼がシンボルの上に表示されます。

凸↑	単重量が小さすぎます。
PRESET	目標数量/目標重量が設定完了。
▲↑	個数が少なすぎます。

2.1.3 個数表示

計量皿に載せている試料の数量が表示されます。

2.2 キースイッチの概要



キー	機能
1	• 数字キー
C	• 削除キー • 目標数量・目標重量の呼び出し
M+	• 本器では使用しません。
MR	• 本器では使用しません。
PRE SET	• 許容値照合のための限界値の入力/表示 • バックライトの実施(キーの長押し)
PRINT	• 本器では使用しません。
REF △	• 単重量の入力
REF 匁	• 単重量の数値入力 • 機能 / パラメーターの選択
TARE	• TAREキー • 風袋引き • セーブ
→0←	• ゼロキー • 重量測定モードに戻ります。

3 開梱・設置方法

3.1 設置条件

下記条件にて設置して下さい:

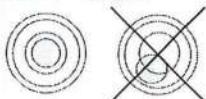
- 安定した水平の取れた場所に設置して下さい;
- 温度変化の激しい場所には設置しないで下さい;
- 直射日光の当たる場所には設置しないで下さい;
- 重量測定中、振動を与えないで下さい;
- 湿度の高い所、蒸気や埃のある場所には設置しないで下さい;
- 長時間、湿度の高い所にはさらさないで下さい。
結露を起こさないようにして下さい。
- 静電気が帯電しないようにして下さい。

静電気が帯電した場合、測定結果が正しくない値を表示します。その場合、設置場所を変更して下さい。

3.2 開梱

慎重に開梱し、適した作業台に設置して下さい。

3.2.1 設置

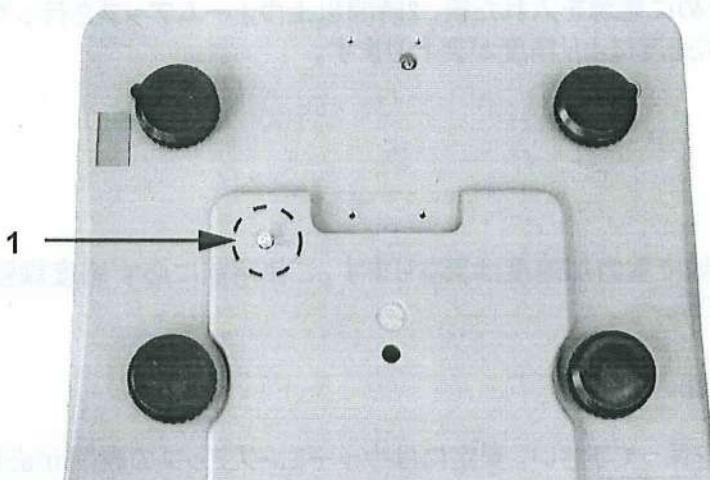


この天秤には、4箇所に水平調整足があります。上から見て時計回りに回すと水平調整足が伸びて天秤が上がり、反時計回りに回すと水平調整足が縮んで天秤が下がります。

水準器は、ディスプレイの左前にあります。天秤に傾きがあると、水準器の気泡が黒い円から外れた位置になります。気泡が中央に来るよう調整します。

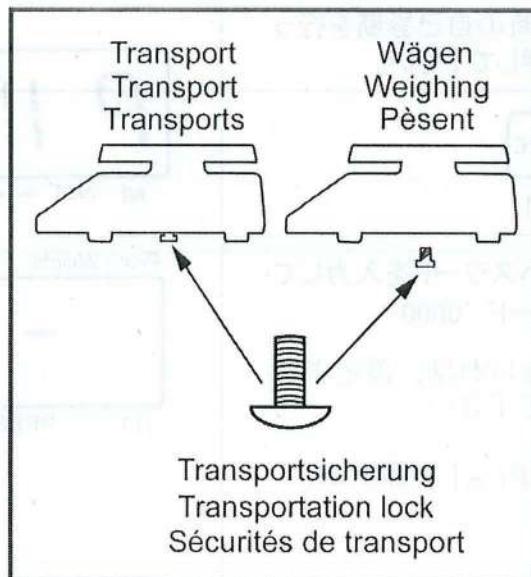


輸送用ロックの解除 (CPB-6K0.1Nのみ)



反時計方向にネジを緩めて輸送用ロック[1]を外して下さい。

輸送する場合、輸送用ロックを時計方向にネジを締めて下さい。



3.3 電源の接続

付属のACアダプタを接続し、電源を供給して下さい。

3.4 ウオームアップ

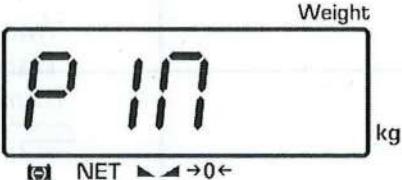
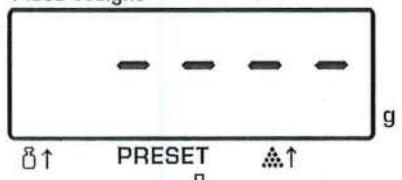
正しい測定を行うために電源を入れた後、2時間以上ウォームアップを行って下さい。
また、地域の重力加速度により精度が変わります。

4 感度調整

地球上の全ての地域で重力加速度は異なります。ご使用前に必ず感度調整して頂きま
すようお願い致します。

4.1 感度調整の手順:

安定した環境条件を保って下さい。安定にはウォーミングアップの時間が必要です。
計量皿には何も置かないで下さい。校正分銅をご用意下さい。校正分銅については
(1.仕様 P.4) をご参照ください。

操作	ディスプレイ
⇒ 電源を入れ、スタート時の自己診断を行つ ている間にTAREキーを押して下さい。 	Weight 
⇒ 数字キーを使用してパスワードを入力して 下さい。初期パスワード“0000” 初期パスワードで入れなければ、設定され たパスワードを入力して下さい。 パスワードの設定は [F6P1 n] 参照(P.28)	Piece Weight  Weight 
TAREキーを押して感度調整を継続して下さい。 	

⇒ もう一度TAREキーを押すと右記が表示されます。

↓

⇒ 再度、TAREキーを押します。



„UnLoAd“が表示され、その後、„LoAd“が表示されます。

Piece Weight

9.8 1000 g

凸↑ PRESET △↑

Weight

UNLOAD kg

□ NET ▲ →0←

↓

Weight

LOAD kg

□ NET ▲ →0←

⇒ 校正分銅を計量皿の中央に慎重に載せます。(1.仕様:推奨校正重量 P.4)
„PASS“ が表示されます。

⇒ 本器が自己診断を行っている間に校正分銅を取り除いて下さい。

感度調整が成功しますと、自動的に重量測定モードに戻ります。

調整エラーもしくは校正分銅が正しくなかった場合、エラーメッセージが表示されます。その際には調整をやり直して下さい。

Piece Weight

PASS g

凸↑ PRESET △↑

↓

Weight

99999 kg

□ NET ▲ →0←

↓

Weight

0.0 kg

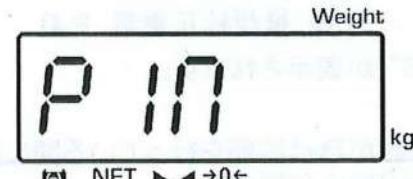
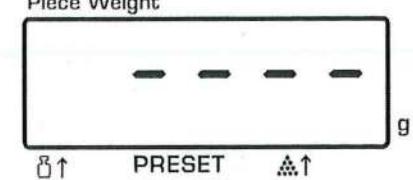
□ NET ▲ →0←

5 感度校正

- 感度校正を行う方は重量測定に熟知した方のみに制限して下さい。
- 感度校正を行うには安定した環境が必要です。また、安定した環境にはウォームアップの時間が必要です。

Tab. 1: 校正ポイント

校正分銅	CPB 6K0.1N	CPB 15K0.2N	CPB 30K0.5N
1.	1 kg	2.5 kg	5 kg
2.	2 kg	5 kg	10 kg
3.	4 kg	10 kg	15 kg
4.	6 kg	15 kg	30 kg

操作	ディスプレイ
感度校正の方法: ⇨ 電源を入れ、自己診断中にTAREキーを押して下さい。 	
⇨ 数字キーを使用してパスワード"9999"を入力して下さい。 ⇨ TAREキーを押して下さい。 	 

⇒ もう一度TAREキーを右記が表示されます。

さらにTAREキーをもう一度押して下さい。



„LoAd 0“が表示され、短い時間で音が鳴り、„LoAd 1“が表示されます。

⇒ 最初の校正分銅(表1ご参照下さい)を載せた後、短い時間、シグナル音が鳴り、„LoAd 2“が表示されます。

⇒ 校正分銅1を取り除き、校正分銅2を載せた後に、再度シグナル音が鳴り、„LoAd 3“が表示されます。

⇒ 校正分銅2を取り除き、校正分銅3を載せます。シグナル音の後、„LoAd 4“ が表示されます。

⇒ 校正分銅3を取り除き、校正分銅4を載せます。シグナル音が鳴り、„LoAd 3“が表示されます。

⇒ 校正分銅4を取り除き、校正分銅3を載せます。シグナル音が鳴り、„LoAd 2“ が表示されます。

⇒ 校正分銅3を取り除き、校正分銅2を載せます。シグナル音が鳴り、„LoAd 1“ が表示されます。

Piece Weight

9.81000 g

▲↑ PRESET ▲↑

(Example)

Weight
Load 0 kg
tot NET ▶→0◀

Weight
Load 1 kg
tot NET ▶→0◀

Weight
Load 2 kg
tot NET ▶→0◀

Weight
Load 3 kg
tot NET ▶→0◀

Weight
Load 4 kg
tot NET ▶→0◀

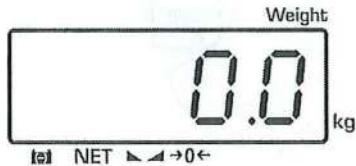
Weight
Load 3 kg
tot NET ▶→0◀

Weight
Load 2 kg
tot NET ▶→0◀

Weight
Load 1 kg
tot NET ▶→0◀

⇒ 校正分銅2を取り除き、校正分銅1を載せます。シグナル音が鳴り、„Load 0“ が表示されます。

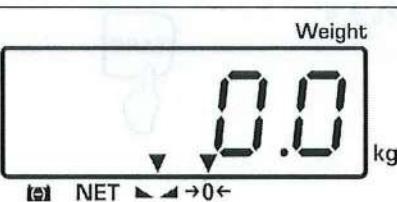
⇒ 感度校正が成功しますと、自動的に重量測定モードに戻ります。



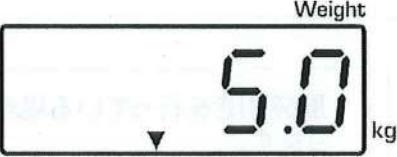
感度校正のエラーもしくは校正分銅が正しくないと、エラーメッセージが表示されます。その場合、感度校正をやり直して下さい。

6 操作方法

6.1 電源on/off、ゼロ設定

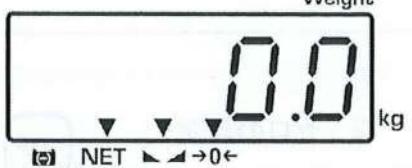
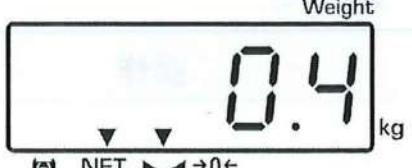
操作	ディスプレイ
<p>1. 電源ON 右下にある電源ボタンをON側に数秒押し、電源を入れます。その後、本器は自己診断を行います。</p>	<p>3つのディスプレイ全てで“0”が表示されると、重量測定の準備ができました。</p> 
<p>2. ゼロの設定 計量皿に何も載せない状態で  を押し、表示重量をゼロにして下さい。</p>	 <p>0が表示されて、→0←の上に▼が表示されます。</p>

6.2 重量測定

操作	ディスプレイ
試料を計量皿に載せて下さい。	<p>重量測定結果を読んで下さい。</p>  <p>重量測定値が安定している時、▼が▲▲の上に表示されます。</p>
試料の重量が測定範囲を超えている時、OL (Over Load)が表示され、アラームが鳴ります。	

6.3 風袋引き

容器の重量を風袋引きすることで、試料のみの重量を測定することができます。

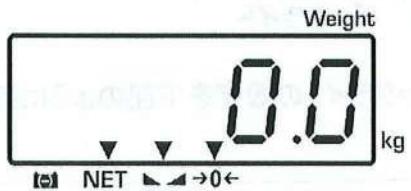
操作	ディスプレイ
空の容器を計量皿に載せ、容器の重量が表示されます。	 (Example)
TAREボタンを押し、風袋引きを行います。“0”が表示されます。	 風袋引きが行われ、NET ▶◀ →0← の上に▼が表示されます。
容器に試料を入れ、重量を測定して下さい。	試料のみの重量を読み取れます。 



- 風袋引きを行っている場合、重量測定範囲は、風袋引きした容器の重量分、狭まります。



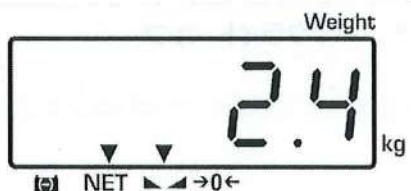
を押してディスプレイを“0”にします:



容器の重量は風袋引きされました。

容器の上に試料を載せます。

容器の上に載せられた重量のみ表示されます。

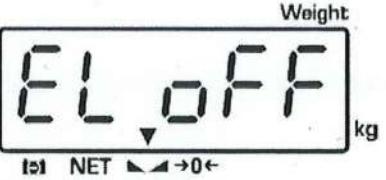
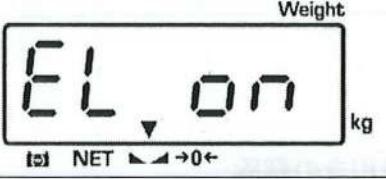
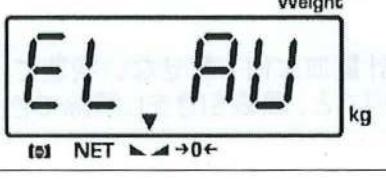


風袋引きの解除:

⇒ 計量皿に何も載せない状態で、キーを
押すと、風袋引きをし解除できます。

6.4 バックライト

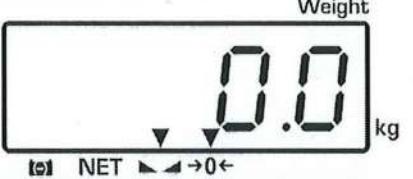
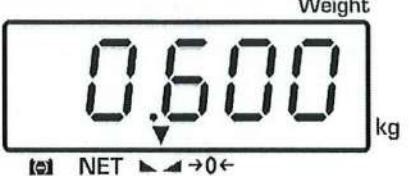
バックライトの設定を下記のように行えます:

<p>重量測定モードで  キーを押し続けます バックライトの設定状況が表示されます。</p> <p> を押し、下記3つの中から選択します。</p>	
<ul style="list-style-type: none">• バックライト オフ	 <p>Weight EL OFF ↓ kg tot NET ▶ ▷ 0 ←</p>
<ul style="list-style-type: none">• バックライト オン	 <p>Weight EL on ↓ kg tot NET ▶ ▷ 0 ←</p>
<ul style="list-style-type: none">• バックライト オートパワーオフ	 <p>Weight EL AU ↓ kg tot NET ▶ ▷ 0 ←</p>
<p> キーを押し、設定を完了します。その後、 重量測定モードに戻ります。</p>	

7 個数測定

容器の中の試料の個数を測定できます。大量の部品の数量をカウントするために、少ない数量から平均重量を決定しなければなりません。参照数量が多いほど、数量カウントの正確性は増します。小さい部品もしくは大きくサイズが異なる部品については十分に選択する必要があります。

7.1 重量測定による単重量の決定

操作	ディスプレイ
⇒ 重量を0にリセットします。もしくは空の容器を載せた状態で風袋引きによって0にします。	 <p>Weight 0.0 kg tare NET ▶ ▷ → 0 ←</p>
単重量の設定: ⇒ 参照として既知の数量の試料を載せて下さい。 ⇒ 安定表示されるまでお待ち下さい。 数字キーで既知の数量を入力し、入力値が点滅している間にREFキーを押すと、数秒間“SAMP”が表示されます。 	 <p>Weight 0.600 kg tare NET ▶ ▷ → 0 ←</p>  <p>Piece Weight SAMP ▼ ↑ PRESET ▲ ↑</p>  <p>Piece Weight 100.003 g ▼ ↑ PRESET ▲ ↑</p>

数量カウント:

試料を載せて、数量を読んで下さい。



注意:

- 追加した試料の重量が単重量を得るために載せた総重量より軽い場合、単重量を新たに計算し直します。この最適化はシグナル音で知らせます。
- 単重量は測定値が安定した時のみ決定されます。
- 重量測定値がマイナスの場合、個数もマイナスを表示します。

単重量の消去

 キーを押すと、単重量は消去されます。

7.2 数字キーによる単重量の入力

1ヶあたりの重量をご存じの場合、数字キーで入力できます。

単重量の設定:

単重量を数字キーで入力し、5秒以内に
REFキーで確定して下さい。



Piece Weight

100 g

凸↑ PRESET ▲↑

試料の数量カウント:

必要であれば風袋引きを行い、試料を載せ、数量を読みます。

試料を計量皿に載せます:

単重量:

計量皿の上の数量:

Weight Piece Weight

0.500 kg

100 g

5 Pcs

tare NET ▶ 0 ←

凸↑ PRESET ▲↑

M

7.3 目標数量もしくは目標重量への重量測定と許容値の確認

目標重量もしくは目標数量への到達時、上限値を超えた時、また下限値を下回った時にシグナル音が鳴ります。(設定により異なります)

注意:シグナル音の設定はメニュー F10 bEPにて行います。設定は下記のように4つございます。

- OK 試料が設定範囲内の時、シグナル音が鳴ります。(初期設定値)
- Low 試料が下限値より下の時、シグナル音が鳴ります。
- NG 試料が設定範囲を超えた時、シグナル音が鳴ります。
- High 試料が上限値を超えた時、シグナル音が鳴ります。

7.3.1 目標数量のための許容値確認

目標数量モードの選択:

C キーを押し続けると、目標数量の許容値確認が表示されます。

もう一度 C キーを押し続けると、許容値チェック OFFが表示されます。

もう一度 C キーを押し続けると、目標重量の許容値 チェックが表示されます。

Piece Weight

PCS g

凸↑ PRESET ▲↑

Check psc - 目標数量の許容値確認

Press C

Piece Weight

OFF g

凸↑ PRESET ▲↑

Check off - 許容値確認OFF

Press C

Piece Weight

nET g

凸↑ PRESET ▲↑

Check net -: 目標重量の許容値確認

**上下限値の設定:
目標数量の上限値の決定:**

⇒  を押すと、"Hi Cnt"が表示されます。

⇒ 数字キーで上限値を入力します。右の例は70ヶです。

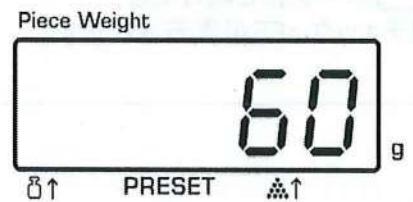
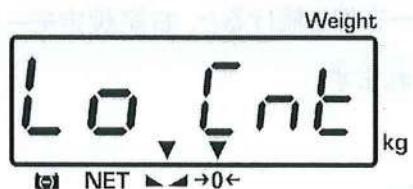
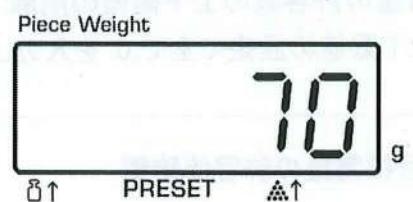
⇒  を押すと、"Lo Cnt"が表示されます。

目標数量の下限値の決定:

⇒ 目標数量の下限値を数字キーで入力します。右の例は60ヶです。

⇒  を押して確定します。

⇒  キーを重量測定モードに戻るまで複数回押します。



目標数量の許容値の確認

- ⇒ 平均重量の決定(chap. 8.1参照) もしくは数字キーで入力します。(8. 2参照)
- ⇒ 試料を載せ、シグナル音が鳴るまで試料を追加します。設定したメニューによります。メニュー „F10“ (11.2参照)。

目標数量の許容値の上下限値の削除:

- ⇒ 上下限値の設定で全て „0“ を入力し、TAREキーで確定します。

7.3.2 目標重量の許容値確認

目標重量モードの選択:

【C】キーを押し続けると、右記設定モードが表示されます。

再度【C】キーを押し続けると、許容値チェック OFFが表示されます。

さらに【C】キーを押し続けると、目標重量の許容値チェックが表示されます。

Piece Weight

PCS g

凸↑ PRESET ▲↑

Check psc - 目標数量の許容値確認

Press 【C】

Piece Weight

OFF g

凸↑ PRESET ▲↑

Check off - 許容値確認OFF

Press 【C】

Piece Weight

NET g

凸↑ PRESET ▲↑

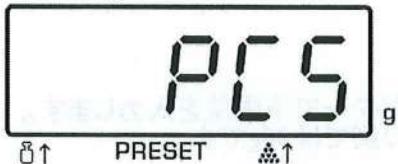
Check net - 目標重量の許容値確認

目標重量モードの選択:

C キーを複数回、押し続けると右記目標設定モードを選択できます。(P.22参照)

- Check off - 許容値確認オフ
- Check psc - 目標数量の許容値確認
- Check net - 目標重量の許容値確認

Piece Weight



上下限値の設定:
目標重量の上限値を決定します:

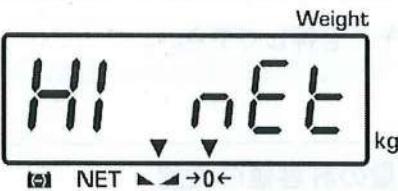
↓ キーを押し、
 キーを右記
„Hi nEt“が表示されるまで複数回押します。

↓ 数字キーで上限値を入力します。

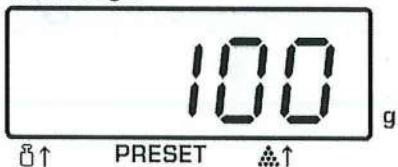
右の例では100gです。

↓ 5秒以内に キーを押して確定します。

↓ 次に„Lo nEt“が表示されます。



Piece Weight



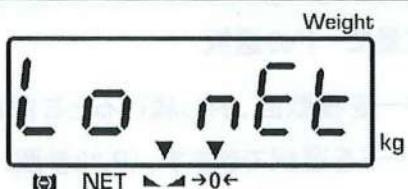
目標重量の下限値の決定:

- ⇒ 数字キーで下限値を入力します。
右の例では90gです。
- ⇒ 5秒以内に **TARE** キーで確定します:



重量測定モードに戻るまで複数回

TARE キーを押して下さい。



Piece Weight



□↑ PRESET ▲↑

目標重量の許容値の確認

- ⇒ 目標重量になるまで試料を載せ、アラームが鳴るか確認します。
(メニューにより異なります) メニュー „F10“ (P.29)ご参照下さい

目標値の消去:

- ⇒ 全ての目標値に0を入力し、**TARE** キーで確定します。



キーで確定します。

8 メニュー

メニューへのアクセス

⇒ 本器の電源を入れ、自己診断の間に TAREキーを押します。

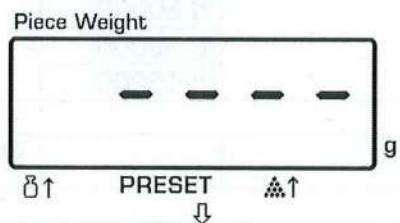
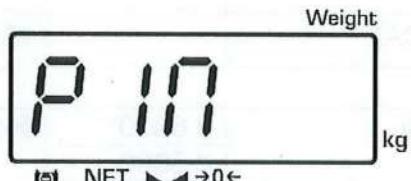
⇒ 数字キーでパスワードを入力します:

- 初期パスワードは"0000"です。

or

- パスワード変更は
機能 [F6 P1 n] (メニュー概要8.1 P.28)
をご参照下さい。

⇒ TAREキーで確定します。



機能の選択:

⇒ を押すごとに表示メニューが切り替わります。

変更 / 保存 設定:

⇒ でメニューを選択します。 を押し、希望される項目を選択します。

で確定もしくは でキャンセルします。

Exit メニュー:

⇒ 重量測定モードに戻ります。

8.1 メニュー概要

メインメニュー	サブメニュー	設定 / 説明							
F1 CAL		感度調整							
F2 di	d 6000*	設定値を変更しないで下さい。							
	d 3000								
	d 60000								
	d 30000								
	d 15000								
F3 Cnt		設定値を変更しないで下さい。							
F4 AU Add-up mode and data output 設定値を変更しない で下さい。	AU on* Automatic summation mode	b9600*, b600, b1200, b2400, b4800	LP 50 tP	EnG	CHi	not documented			
	P ASt	b9600*, b600, b1200, b2400, b4800	EnG	CHi		Remote control instructions			
	P Cont	b9600*, b600, b1200, b2400, b4800	EnG	CHi		Continuous data output			
	AU off Manual summation mode	b9600*, b600, b1200, b2400, b4800	LP 50 tP	EnG	CHi	not documented			
				Standard printer setting					
F5 AZn ゼロ調整 設定範囲	2d*	自動ゼロ設定、0.5d、1d、2d、4dから選択できます。							
	4d								
	0.5d								
	1d								
F6 Pin パスワード	Pin 1*	新パスワードの入力							
	Pin 2	新パスワードの確定							
ディスプレイ速度	SPd 7.5*	本器では使用できません。							
	SPd 15								
	SPd 30								
	SPd 60								
F8 oFF オートパワーオフ	oF 0*	本器では使用できません。							
	oF 3								
	oF 5								
	oF 15								
	oF 30								

F9 Gru	9.79400*	本器では使用しません。
F10 bEP シグナル音	ok*	重量が設定範囲内の時、シグナル音が鳴ります。
	Low	重量が下限値より下の時、シグナル音が鳴ります。
	nG	重量が設定範囲を超えた時、シグナル音が鳴ります。
	HiGH	重量が上限値を超えた時、シグナル音が鳴ります。
F11 rSt	初期設定へのリセット	

* 初期設定

9 メンテナンスと清掃

9.1 クリーニング

クリーニングの前に電源コードを外して下さい。

強い洗浄剤(溶剤や同等の薬剤)は使用せず、薄い石鹼水で湿らせた布をご使用下さい。
機器の中に液体を染み込ませないで下さい。

残ったサンプルや粉はブラシや掃除機で取り除いて下さい。

こぼした試料は早急に取り除いて下さい。

9.2 廃棄

梱包および機器は地域の法令に従って廃棄して下さい。

10 困ったときは

エラーが生じた場合、しばらくの間、電源を切り、電源コードを外して下さい。

10.1 エラーメッセージ

エラーメッセージ	詳細
Err 4	ゼロ調整の範囲を超えてます。
Err 5	入力が正しくありません。
Err 6	電気系統が壊れています。
Err 9	測定結果が安定しません。

他のエラーが表示された場合、電源を一旦切り、再度電源を入れて下さい。それでもエラーが消えない場合はご購入された販売店にご連絡下さい。

10.2 トラブルと原因

トラブル	原因
ディスプレイが表示されない。	<ul style="list-style-type: none">電源が入っていない。ACアダプタの破損 (ACアダプタが正確に接続されていない)。電源が遮断されている。
表示重量が変わり続ける。	<ul style="list-style-type: none">風や空気の流れテーブルや床の振動計量皿が別の物に接触している。電磁界 / 静電気の帯電(別の場所に設置 / 干渉する機器の電源を切る)
測定結果が明らかに違う	<ul style="list-style-type: none">ゼロ点が間違っている。感度調整が正しくない。温度が不安定電磁界 / 静電気の帯電(別の場所に設置 / 干渉する機器の電源を切る)

保証規定

- (1)弊社商品を、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは、当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び使用条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。
- (2)次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。・誤使用、不当な修理・改造による故障。
・本品納入後の移動や輸送或いは落下等による故障。
・火災、天災、異常電圧、公害、塩害等外部要因による故障。・接続している他の機器が原因による故障。
・車両・船舶等での使用による故障。
・消耗部品、付属部品の交換。
・本保証書の字句を訂正した場合、購入年月日・購入店の記入がない場合、及び保証書の提示がない場合。
- (3)ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦頂きます。
- (4)本保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書

本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に左記保証規定(1)に基づく正常な使用状態での故障の節は左記保証規定により修理いたします。

品 名	カウンティングスケール
型 式	CPB6K0.1N, CPB15K0.2N, CPB30K0.5N
保 証 期 間	お買い上げ日より1年間
お買 上げ日	年 月 日
お 名 前	様
ご 住 所	TEL.
取 扱 店 名	担当者印
住 所	TEL.

商品についてのお問い合わせは

カスタマー相談センター

受付時間：午前9時～午後5時30分まで

土・日・祝日及び弊社休業日はご利用いただけません。



0120-700-875

(フリーダイヤル)



FAX 0120-700-763

(フリーダイヤル)



http://help.as-1.co.jp/q



アズワン株式会社